

! 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具

取扱説明書

人感センサ N型 タイマー付き ON/OFFタイプ


保存用

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、ご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	
製品・お取り扱いなどのご相談は	修理・アフターサービスのお問い合わせは
お客様相談室	サービスセンター
ナビダイヤル (全国共通番号) 電話 0570-055123	ナビダイヤル (全国共通番号) 電話 0570-015123
受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)	FAX 0570-025123
	受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

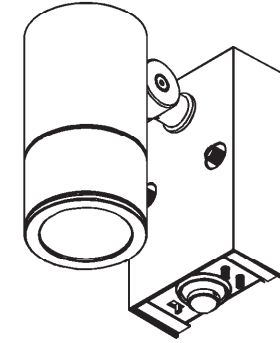
●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検	★長年ご使用の照明器具の点検を！	
 <p>ご使用の際このような症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や痛みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。 	<p>ご使用中 故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。</p>

安全に関するご注意

- 照明器具及び関連機器には耐用年限があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。	
<p><保証について></p> <ol style="list-style-type: none"> 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 保証期間でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。 <ol style="list-style-type: none"> (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船艀などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 保証書は日本国内においてのみ有効です。 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。 		<p><アフターサービスについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 保証期間を過ぎていた場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 <p>※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。</p> <p>※This warranty is valid only in Japan.</p>	
保証期間(お引き渡し日より) 本体：1年間 LED電源/モジュール/LED電球：3年間	お買上年月日	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	
お客様様	お名前		
	ご住所		
	電話 ()		



人感センサ
人や熱の変化を検知して自動点灯！
点灯時間や感知エリアを調整できます。

強制点灯
壁スイッチでセンサ機能を解除。
長時間使用の際に便利です。

省エネ
タイマーモードで夜間の点灯時間(8時間・6時間)が設定可能！
時間設定なしの夜間モードも搭載。
暗いときだけセンサが感知するので省エネです。

もくじ

- センサの内容 . . . P.2
- センサの表示灯について . . . P.2
- センサのモード設定 . . . P.3～P.4
- センサ調整方法 . . . P.5
- 壁スイッチで操作する . . . P.5
- 強制解除について . . . P.5
- 注意事項
 - 感知エリアについて . . . P.6
 - 設置環境の確認 . . . P.7
 - 人感センサの動作原理 . . . P.7
- 修理を依頼される前に . . . P.8～P.9

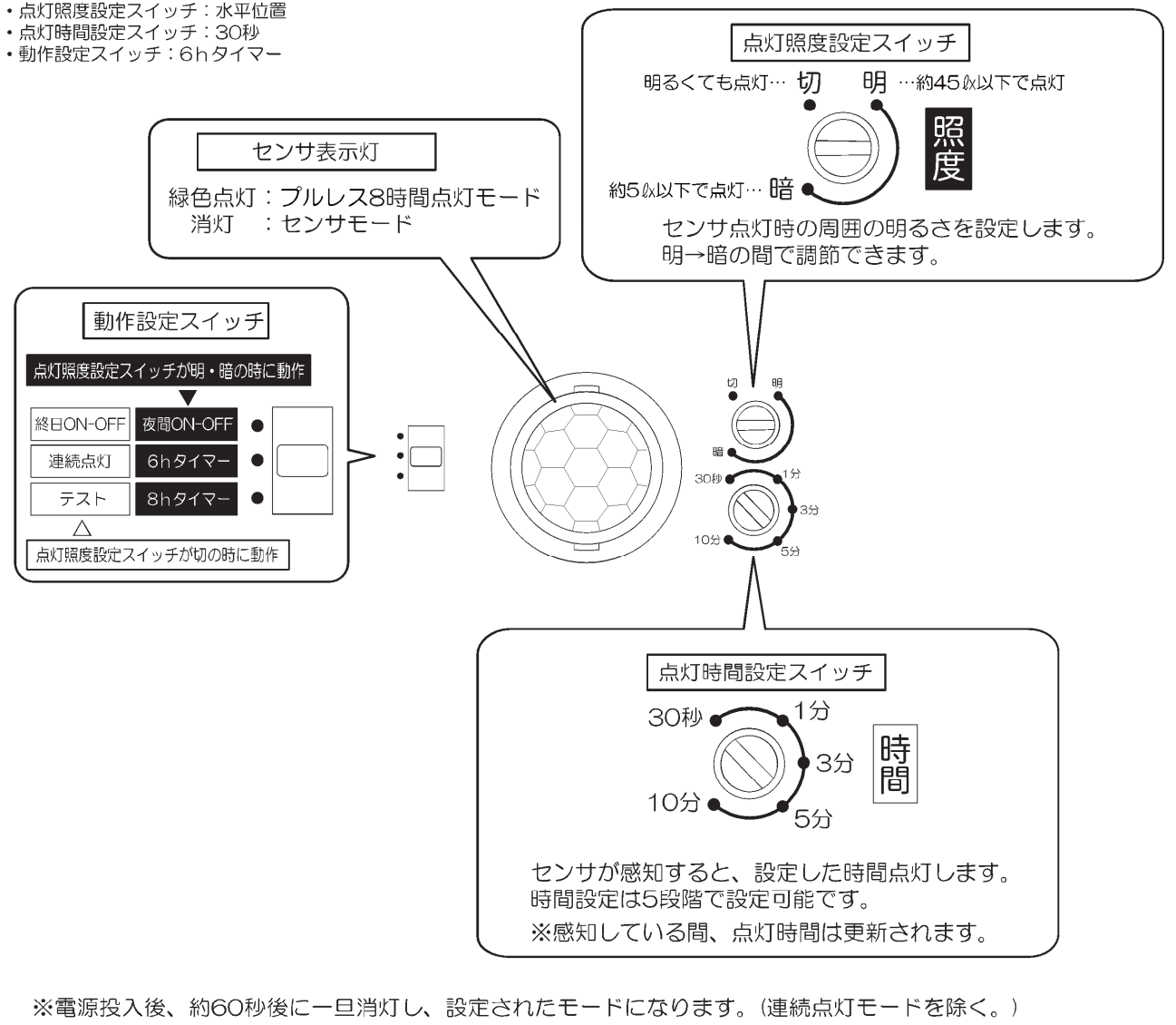
ご希望の用途に合わせて、センサ機能を設定いただけます。

暗い時だけセンサ機能を使いたい	<p>人がいない時は照明を消灯させ、人が近づくと点灯させたい【夜間オンオフモード】→P.3へ</p> <p>帰宅時間帯は連続点灯させ、深夜～朝方は人が近づくと点灯させたい【8時間・6時間タイマーモード】→P.3・P.4へ</p>
明るさに関係なくセンサ機能を使いたい	<p>人がいない時は照明を消灯させ、人が近づくと点灯させたい【終日オンオフモード】→P.4へ</p>
使う時だけ壁スイッチで照明を点灯させたい	<p>壁スイッチで照明を点灯・消灯させたい【連続点灯モード】→P.4へ</p>
明るさに関係なく点灯させた後センサ機能を使いたい	<p>壁スイッチで8時間点灯させた後、センサ設定モードへ自動で切り替えたい【ブルレス8時間点灯モード】→P.5へ</p>

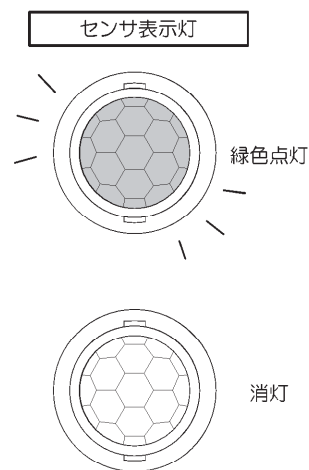
■センサの内容

- ※出荷時は以下の設定になっています。
- 点灯照度設定スイッチ：水平位置
 - 点灯時間設定スイッチ：30秒
 - 動作設定スイッチ：6hタイマー

※実際の器具表示とは一部異なる箇所があります。



■センサの表示灯について



緑色点灯時<プルレス8時間点灯モード>
 動作設定スイッチ、点灯照度設定スイッチが
 いずれの位置であっても、壁スイッチで点灯、
 消灯操作ができます。
 (このモードは設定してから8時間有効です。
 8時間後に緑色点灯は消灯します。)

消灯時<センサモード>
 動作設定スイッチ、点灯照度設定スイッチ
 組み合わせモードの状態です。

→センサ表示灯の切替方法はP.5へ

■センサのモード設定

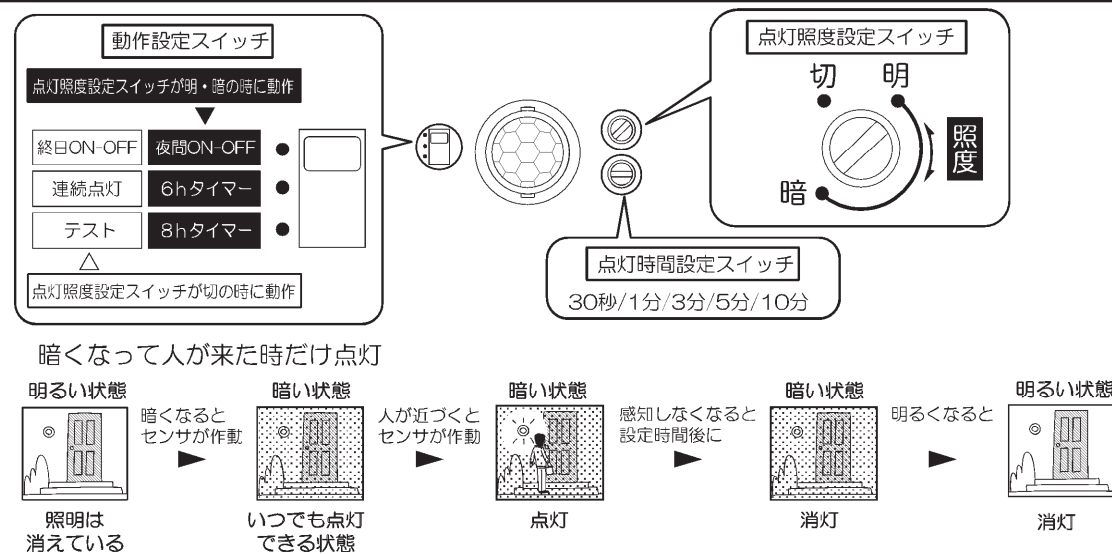
ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度と点灯時間を設定してください。

- ※電源投入後、約50秒間点灯し、その後は明るくても人を感知することに約6秒間点灯します。
 電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。(連続点灯モードを除く。)

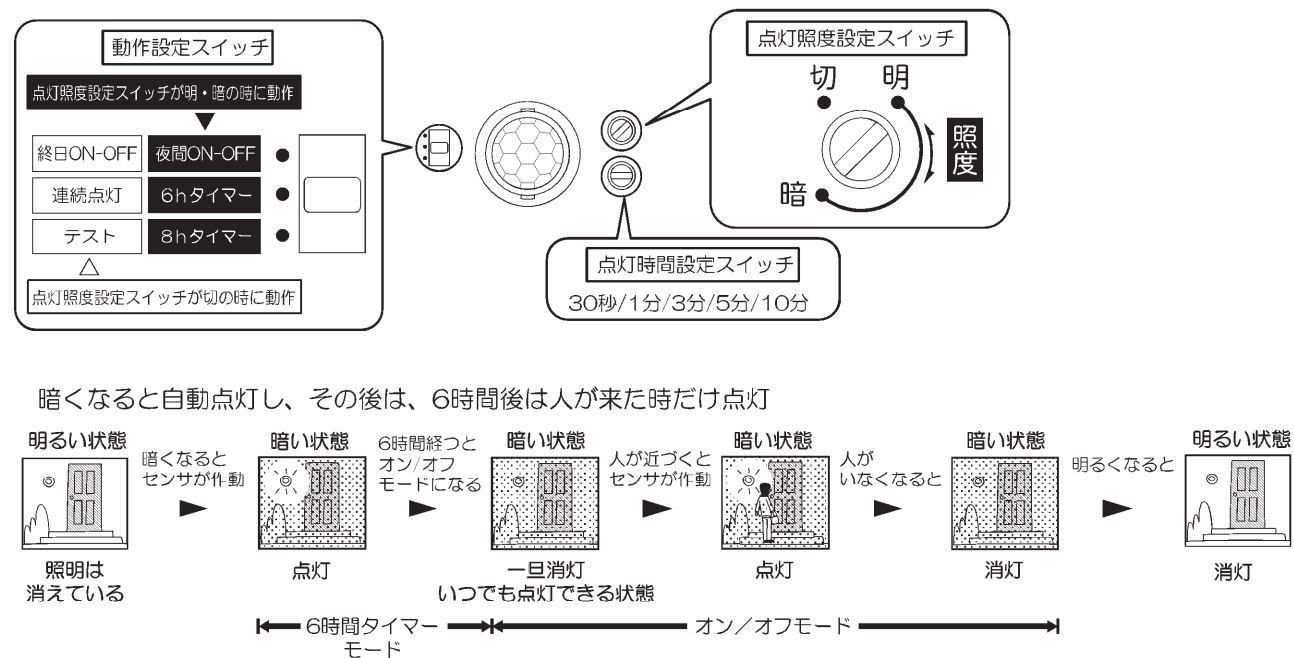
※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

※スイッチの設定を変更した場合は、壁スイッチを10秒以上OFFにしてからONにしてください。
 誤動作する場合があります。

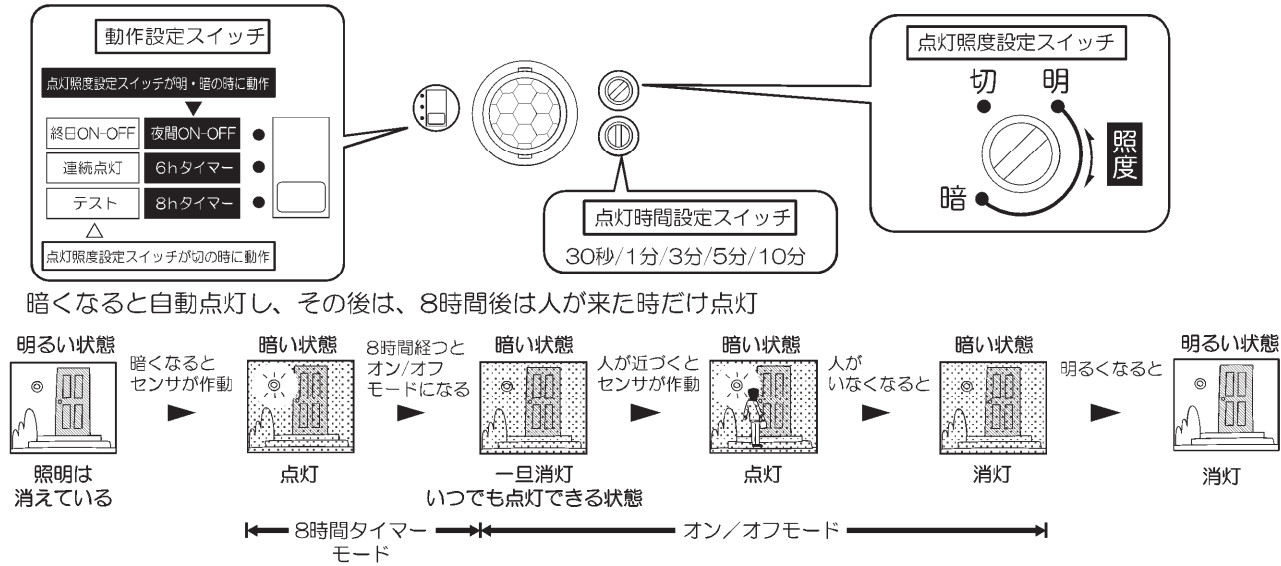
夜間オンオフモード



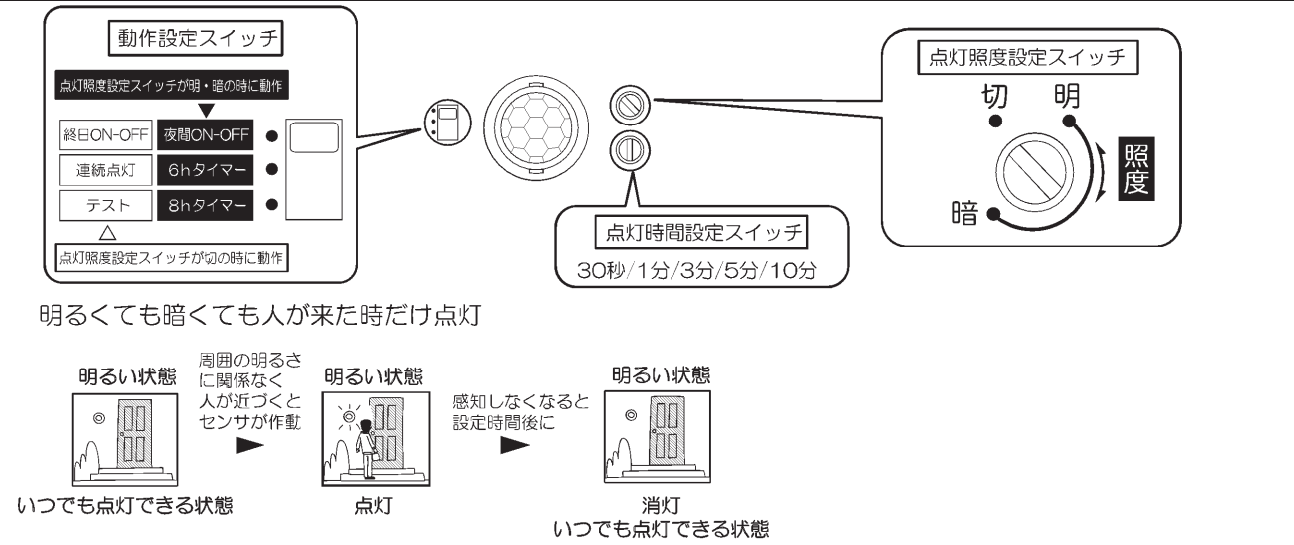
6時間タイマーモード



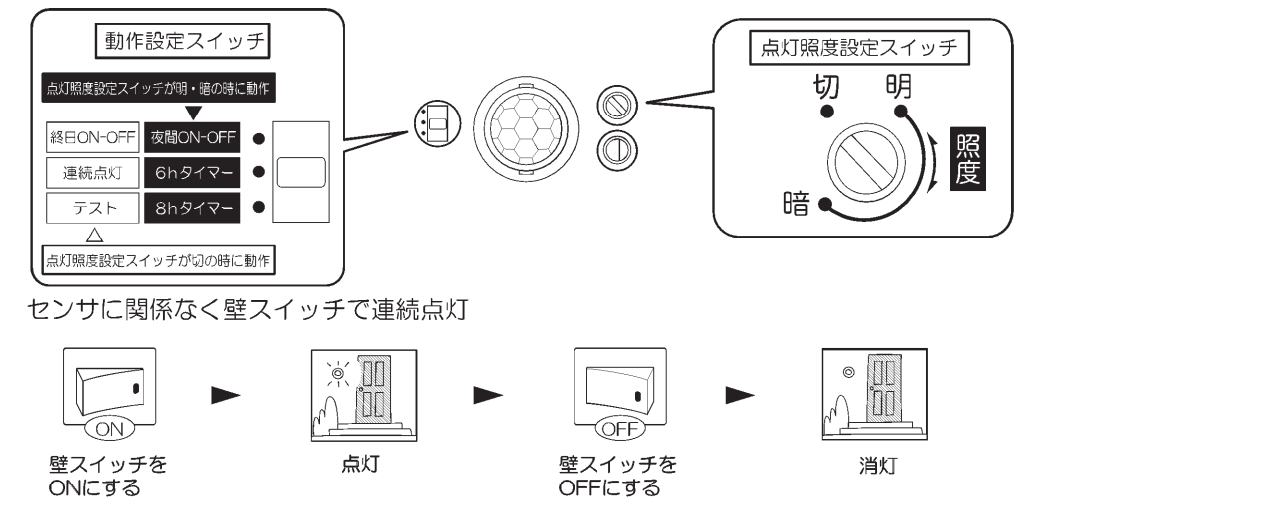
8時間タイマーモード



終日オンオフモード



連続点灯モード



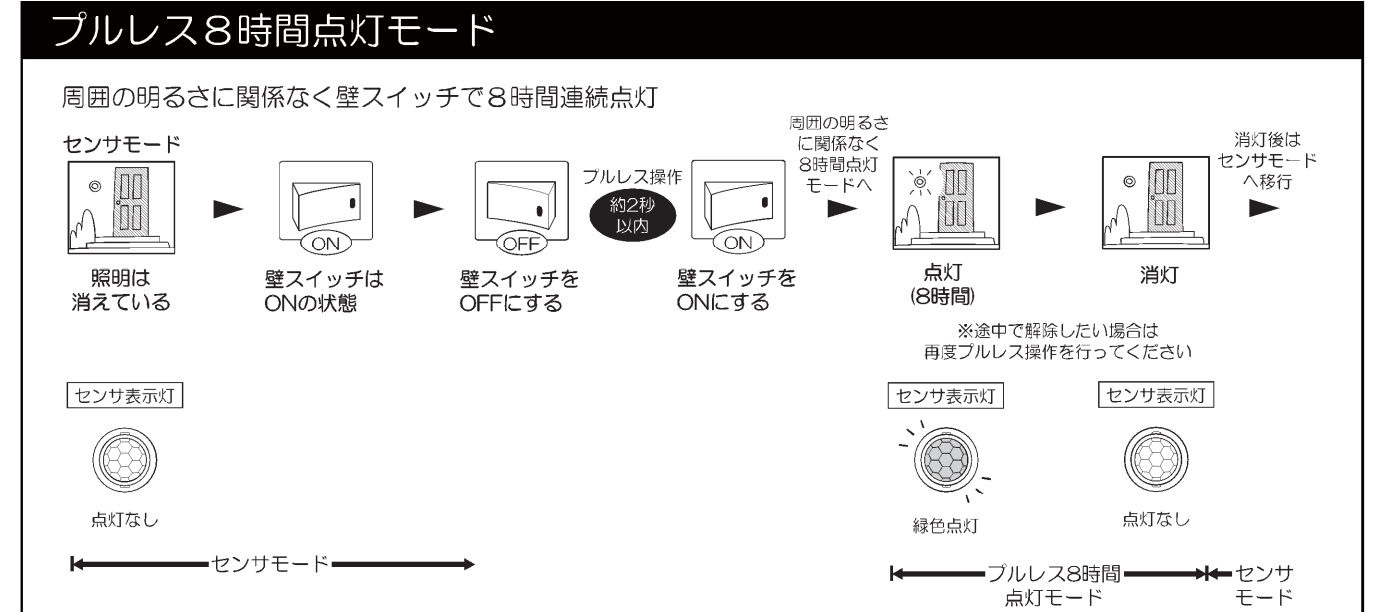
■センサ調整方法

動作設定スイッチ・点灯照度設定スイッチの組み合わせで各モードの設定ができます。

モード設定	点灯照度設定スイッチ	動作設定スイッチ
夜間オンオフモード	明 ※1	終日ON-OFF 夜間ON-OFF
	暗 ※2	
終日オンオフモード	切	
6時間タイマーモード	明 ※1	連続点灯 6hタイマー
	暗 ※2	
連続点灯モード	切	
8時間タイマーモード	明 ※1	テスト 8hタイマー
	暗 ※2	

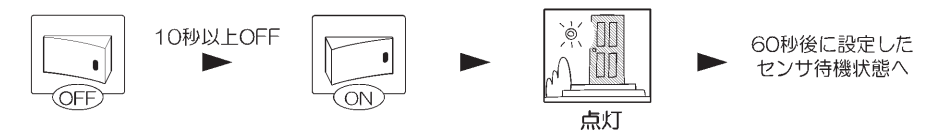
※1 明に設定：周囲の明るさが約45以下で点灯
※2 暗に設定：周囲の明るさが約5以下で点灯

■壁スイッチで操作する(プルレス操作)



■強制解除について

※壁スイッチを10秒以上OFF後、ONにしてください。点灯し、約60秒後に設定したセンサ待機状態に戻ります。
※リセット操作を行うためには必ず壁スイッチを併用してください。

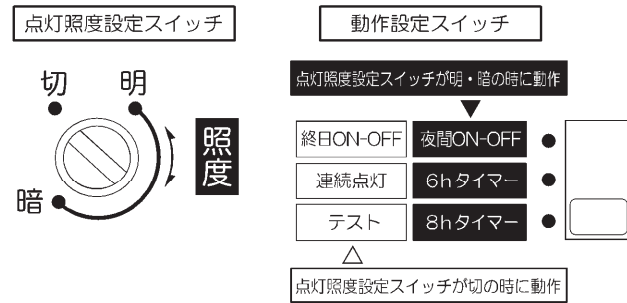


！ 注意事項 センサ動作に不具合がみられる場合はご確認ください。

■感知エリアについて

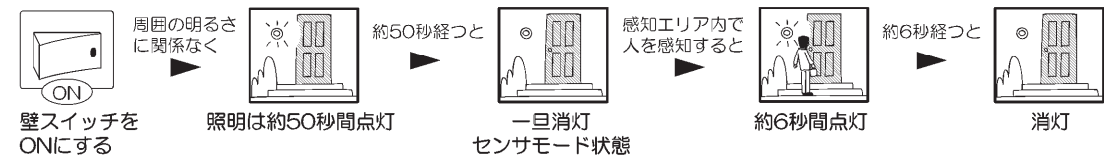
テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行ってください。

下図のように点灯照度設定スイッチを「切」に動作設定スイッチを「テスト」設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

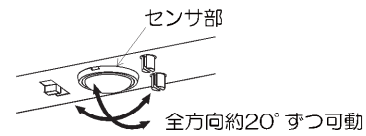


電源投入後、約50秒間点灯し、その後テストモードになります。人を感知することにより点灯時間が延長しますが、電源投入から約60秒後に一旦消灯し、テストモードになります。テストモードは人を感知することにより約6秒間点灯します。

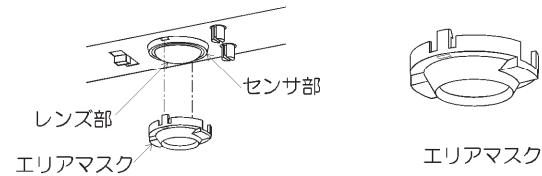
●電源投入後の初期動作



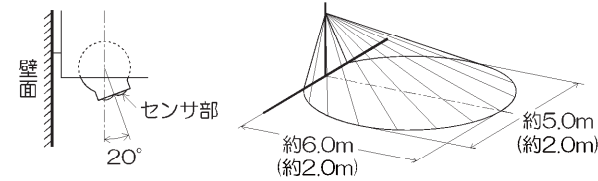
●センサを動かして感知エリアを調整できます。
※調整範囲以上無理に動かさないでください。



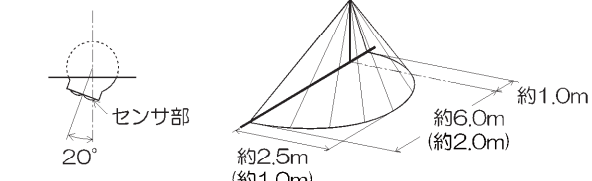
●エリアマスクで感知エリアをせまくできます。
エリアマスクの凸部をセンサの凹部に「カチッ」と音がするまではめ込んでください。



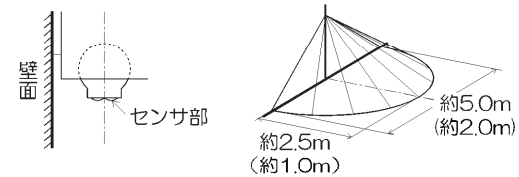
●前方へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



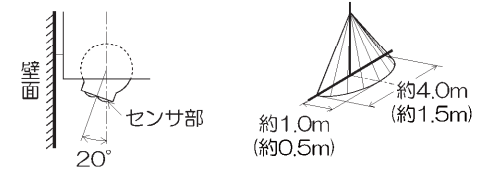
●横方向へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



●可動角度0°の場合<高さ 2.0m>



●手前(器具側)へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



※()内はエリアマスク使用時
※センサに向かった動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)
※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。
※エリア確認後は必ず**■センサのモード設定(P.3,P.4)**を行なってください。

■設置環境の確認

センサ動作に不具合がある場合は、設置環境をご確認ください。
下図のような場所には取付けしないでください。誤作動の原因になります。

車のヘッドライトなど、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けしないでください。 	風などでよくゆれる植物などがある場所には取付けしないでください。 	感知エリア内に障害物のある場所には取付けしないでください。
エアコンの室外機の近くには取付けしないでください。 	取付高さが3mを超える場所には取付けしないでください。 	不安定な場所や振動の激しい場所には取付けしないでください。
風間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。 	夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。 	感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。

●無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

■人感センサの動作原理

人感センサ(熱感知センサ)は温度変化を感知することで作動します。図1-aのようにセンサを横切るような動きの場合は温度変化の感知がしやすく、図1-bのようにセンサにまっすぐ向かっていくような動きの場合は温度変化の感知がしにくくなり、作動しない場合があります。

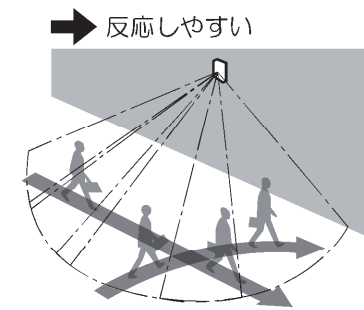


図1-a

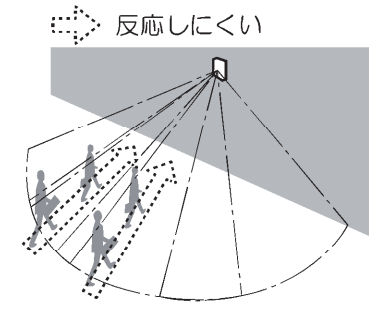


図1-b

※±約5℃の温度変化で感知します。

人が感知範囲を通る際、感知しやすい方向としにくい方向があります。動線を考慮し、人がセンサを横切るように配灯すれば、感知しやすくなります。動線を考慮した配灯位置を確保してください。

修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

- センサ感知動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。
- 正常に戻らない場合は、壁スイッチをOFFにして(10秒以上)再びONにしてください。

こんなとき	考えられる原因	処置
感知エリアに人がいるのに点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	点灯照度設定つまみで設定した明るさよりも周囲が明るい	点灯照度設定つまみを「明」側にする
	センサに光が入っている	光源を取り除く
	人が静止しているか動きが小さい	静止しているか動きが小さい状態では感知できません
感知エリアに人がいるのに点灯しにくい	センサがよごれていたり蒸気などの水滴がついている	センサを柔らかい布で傷がつかないようにふきとる
	感知エリアが適切ではないまたは、センサに向かって歩いている	感知エリアを調節する(説明書P.6の■感知エリアについてをご確認ください)センサに向かっての動作は感知しにくくなります
	エリアマスクを付けている	エリアマスクをはずす
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり手袋をしている	本センサは温度変化を感知するため左記の場合感知しにくいことがあります(故障ではありません)
	暑い日などで周囲温度と人体の温度差が少ない	
感知エリアに人がいないのに点灯している	感知エリア内に人以外の熱源がある(例) 白熱灯照明器具 エアコンの吹き出し口 風などでよく揺れるもの(植木、カーテンなど) 犬や猫などの動物 強い風、雨、雷 ストーブなどの暖房器具	感知エリア内の熱源を取り除く 本センサは温度変化を感知するため左記の要因で感知エリア内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります(故障ではありません)
	感知エリアが適切ではない	感知エリアを調節する(説明書P.6の■感知エリアについてをご確認ください)
	エリアマスクが付いていない	エリアマスクを付ける
	壁スイッチをONにした直後または停電が回復した直後	壁スイッチON後、約60秒間は点灯しません(故障ではありません)
	壁スイッチの操作によりプルレス8時間点灯モードになっている	
	3秒以内の停電により、プルレス8時間点灯モードになることがまれにありますが、故障ではありません。	壁スイッチを一度OFFにして(10秒以上)再びONにする
	センサの設定が連続点灯モードになっている	センサの設定を変更する(説明書P.3~P.4の■センサのモード設定をご確認ください)

こんなとき	考えられる原因	処置
人がいなくなってもなかなか消灯しない	感知エリア内で人以外の熱源を感知し点灯時間が延長されている	感知エリアを調節する(説明書P.6の■感知エリアについてをご確認ください)
	センサの設定が6時間・8時間タイマーモードになっていて設定した時間が経過していない。	センサの設定を変更する(説明書P.3~P.4の■センサのモード設定をご確認ください)
	センサの設定が連続点灯モードになっている	
周囲が暗くなっても人を感知して点灯しない(消灯状態である)	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	点灯照度設定つまみで設定した明るさよりも周囲が明るい	器具の設置場所を明るくしている原因を取り除く 点灯照度設定つまみを「明」側にする
周囲が明るいのに人を感知しているまたは人がいないのに点灯している	点灯照度設定つまみが「明」または「切」になっている	点灯照度設定つまみを「暗」側にする
	器具の設置場所が暗い(昼間でも暗い)	器具の設置場所を暗くしている原因を取り除く 6時間・8時間タイマーモードでご使用の場合、昼間でも周囲が暗い時や雨や曇りなどで周囲が暗くなった時は、まれにセンサが夜と勘違いして照明を点灯させることがあります 壁スイッチをOFFにして10秒以上たってからONにしてください
	何らかの要因により周囲が暗い状態になった	
人を感知して点灯するがすぐに消灯する	センサの設定がテストモードになっている	センサの設定を変更する(説明書P.3~P.4の■センサのモード設定をご確認ください)
	壁スイッチをONにした後、約60秒以内である	壁スイッチON後、約50秒間点灯し、その後、約10秒間は明るくても人を感知することに約6秒間点灯します(故障ではありません) 壁スイッチONから約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります(連続点灯モードを除く)

! 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。
壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。

■LEDユニットについて

- 光束維持時間は40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直射しないでください。
- LEDはパツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- LEDの短寿命の恐れがあるため、直射日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■器具のお手入れ △注意

器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。
●明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
●器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具 施工取扱説明書


型番 AU55958・AU55959

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】



警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
! 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	⊘ 禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	⚡ アース工事	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
⊘ 禁止	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障などの原因になります。	! 厳守	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
⊘ 禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は壁取付専用器具です。天井・傾斜天井などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	! 厳守	タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。本体バックシンと取付面とのすきまを防水シールなどで埋めてください。 →火災・感電の原因になります。  バックシン外周部にもシール剤を塗りつけてください。
⊘ 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	! 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
⊘ 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。	! 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
⊘ 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	⊘ 禁止	使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。
⊘ 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	⊘ 禁止	ガス機器など、温度が高くなるもの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
⊘ 禁止	アームなどの可動部のすきまに指を入れないでください。 →けがの原因になります。		

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ
<p>< 保証について ></p> <ol style="list-style-type: none"> 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料修理させていただきます。 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源・LEDモジュール、LED電球は3年間です。 グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 保証期間でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none"> (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地災、異常電圧、指定外の使用電源(高圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合を生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 保証書は日本国内においてのみ有効です。 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。 		<p>保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。</p> <p><アフターサービスについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 保証期間を過ぎたときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 <p>※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」サービスセンターにお問合せください。</p> <p style="text-align: right;">※ This warranty is valid only in Japan.</p>
<p>保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 LED電源/モジュールLED電球:3年間</p> <p>取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号</p>		
<p>お買上年月日</p>		
お客様様	お名前	
	ご住所	
	電話 ()	

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

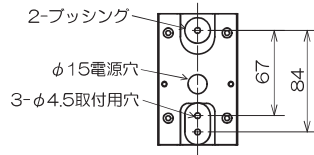
 厳守	照明器具の耐用年限は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。	 厳守	照明器具の耐用年限を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。照明器具の耐用年限を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。燃焼現象ではありません。
---	--	---	---

■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AU55958・AU55959	AC100V	0.17A	8.3W	LED

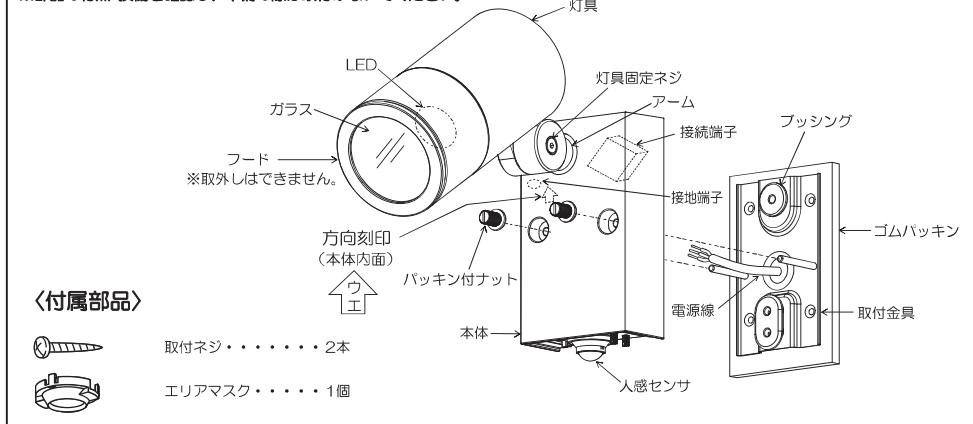
■施工前の確認 ※センサの機能については別紙<取扱説明書>をご参照ください。

- 1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する**
- 2 設置場所を確認する**
別紙<取扱説明書>の「■設置環境の確認」をご参照ください。
- 3 取付面が十分乾燥していることを確認する**
器具や取付面の変色の原因になります。
- 4 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合**
器具の金属部分と電氣的に接続しないように施工する。
- 5 取付ピッチ**
右図は器具を取付面から見た図です。
- 6 器具と他の光源は(負荷連動する器具も含む)1m以上離して取付ける**
誤作動の原因になります。
- 7 自動点滅器(デライトスイッチなど)との併用はしない**
誤作動の原因になります。
- 8 壁スイッチを設ける**
誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。



■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
 ※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

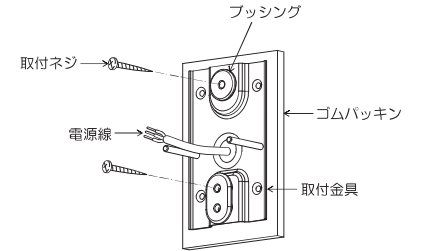


<付属部品>

- 取付ネジ.....2本
- エリアマスク.....1個

1 取付金具を取付ける

取付金具に電源線を通し、取付ネジで取付ける。



2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

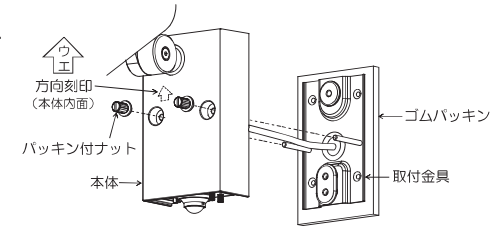
※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合は火災の原因になります。



3 本体を取付ける

方向刻印の指示に従って本体を取付金具に合わせ、パッキン付ナットで取付ける。

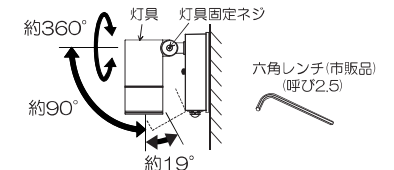


4 点灯の確認を行なう

■照射方向の調節について

●照射方向を調節する場合は灯具を持って行ってください。指定範囲以上、無理に動かさないでください。

上下可動がゆるんだ場合は、灯具固定ネジを六角レンチ(市販品：呼び2.5)で締め付けてください。



■照射距離について

●照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。被照射面との距離は0.1m以上離してください。

